

令和4年度「ビジュアルデザイン」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3年	美術科	美術	ビジュアルデザイン	2	必修
教科書	WARM UP!				
副教材	色彩検定3級 テキスト&問題集				

学習の目的

- 1 視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。
- 2 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- 3 ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

学習の目標

I 知識・技能	ビジュアルデザインに関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。
C 思考・判断・表現	ビジュアルデザインに関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。
E 学びに向かう力・人間性等	主体的にビジュアルデザインに関する専門的な学習に取り組み、その可能性を追求する態度を養う。

つきたい力	課題発見能力・発想や構想の能力。 制作を通して主題を追究する姿勢。視覚情報伝達能力。 社会の課題と制作を関連づける力。プレゼンテーション力。
-------	--

評価方法

	I	C	E
◇ 制作途中の作品を振り返り、自己評価を行います。(Google Classroomの課題)	○	○	○
◇ 作品完成後は作品をプレゼンテーションしたり、互いに講評し合い、自身の思考の広がり、深まりを評価します。	○	○	○
◇ 完成作品や振り返りの記録(ワークシート等)を、題材に応じた観点で評価します。	○	○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 作品制作に必要な画材の準備、情報の取材は自主的に取り組むよう心がけましょう。
- ◇ 提出物は「授業の成果」になります。期限を守り、必ず提出してください。
- ◇ 制作はI・C・Eを相互に関連させ深めていく活動です。画材や技法への探究心を持って取り組んでいきましょう。
- ◇ 鑑賞では作品の良さや美しさを感じ取り、作者の個性や美術文化の良さ感受する姿勢を持って臨みましょう。
- ◇ 自分の考えを深めたり、伝えたりする活動の際は「絵」と「文字」を使って表現します。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	卒業をテーマにしたビジュアルイメージの作成 ①取材・コンセプト・技法選択 ②制作を進める	・課題を理解し、条件に合ったビジュアルイメージの提案ができるようになる。 ・主題を生成し、効果的なビジュアルイメージの構成を練ることができる。		・このビジュアルイメージのコンセプトは何ですか？		○	○
	5	③作品のプレゼンテーション、相互評価	・自分の意図や構成を的確に伝える。 ・造形要素をもとに、ビジュアルイメージを評価することができる。		・作品の魅力を造形要素をもとに分析し、評価しよう。	○	○	○
	6	テーマ別課題① 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して構成を練り、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	7	ビジュアルデザインの効果と役割	・身近なビジュアルデザインを例に、その役割、効果を考え、分析する。 ・完成したデータをプレゼンテーションし、理解を深める。		・ビジュアルデザインの目的や効果は？	○	○	○
第2学期	9	自分を伝えるデザイン ①ポートフォリオ作成 ②作品集のレイアウト	・ポートフォリオや作品集の作成目的や効果を理解する。 ・ポートフォリオや作品集の構成を練り、必要な画像を準備する。		・ポートフォリオのコンセプトは何ですか？ また、どのような場面で使われますか？	○	○	○
	10							
	11	テーマ別課題② ※自分のテーマに応じた課題を設定し、	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	12							
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等に変更になる場合があります。